

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 安城市立里町小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 446-0001
愛知県安城市里町足取1番地5

E-mail : satomachi@anjo.ed.jp

Website : http://www.anjo.ed.jp/~satomachi/

児童生徒数：男子 321名 女子 305名 合計 626名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (福祉)

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

◎生活科や総合的な学習の時間で、身近な素材を体験的な活動を通して授業の展開を図っている。また、専門的な見地からいろいろな話をしていただける方を講師としてお迎えし、説明を聞いたり実際に活動を行わせてもらったりしている。そこから、自ら気付き、疑問に思ったことから課題を作り、追究活動へと進めている。それらの活動で学んだことを、一年間のまとめとして、2月に行う「里小まつり」を発表する場と位置づけ、保護者や地域の方に参加していただいている。各教室では、児童を前半と後半の2つに分け、活動を発表するグループと他の教室を回って参加するグループに分かれ、途中で交代することによって、自分たちの発表と他の教室へ出向いて学ぶことの両方ができるようになっている。各学級では、活動を模造紙にまとめ説明するところ、クイズ形式にして楽しみながら学べるところ、寸劇を見せて内容を知らせるところ、実際の物を使って体験をさせるところなど、どのようにしたら相手に分かってもらえるか、発表にいろいろ工夫をこらしながら行っている。

以下が各学年の取り組みである。

◎ 1年生：「野菜大好き」

1学期には、トウモロコシ・オクラ・ピーマン・ナスなどを、2学期には大根を栽培した。大根は、一人一人種をまき、水かけや草取りなどの世話をした。収穫した野菜は、家に持ち帰ったり、調理して給食の時間に味わったりした。

3学期には、里小まつりで、収穫後に採っておいた種を使って、クイズを出したり、種運びのゲームを行ったりして、楽しんだ。

◎ 2年生：「町探検」

初めに全体で通学路コース別に学区を見学した。見学の中で気づいたことを発表し合い、関心をもった建物やお店をしばった。次に興味をもった場所へ班ごとに見学に行き、インタビューした。見学したことを模造紙にまとめ、各学級で発表会を行った。

◎ 3年生：「里町大好き～みんなにやさしい町安城～」

1学期は社会科と総合的な学習の時間を関連づけ、学区にある不乗森神社を訪ね、ふるさとの良さを学んだ。2学期には福祉教室で、点字やガイドヘルプや手話や高齢者疑似体験を通して、目や耳の不自由な方々や高齢者の生活を学んだ。そのことから、自分たちにもできることがあると考え、学区や安城市内を調べ、スロープや点字付きエレベーターや多目的トイレなど、体が不自由な人や小さな子どもを連れた人々に優しい施設を案内する地図を作った。また、3学期の里小まつりでは、点字、ガイドヘルプや手話の紹介や高齢者疑似体験を通して、目や耳などが不自由な人の気持ちを伝える活動を行った。

◎ 4年生：「環境～私たちにできること～」

社会科の学習と関連させて、ごみの実態やくらしの中の水についての学習に取り組んだ。次第に子どもたちは、環境への意識を深めていった。1学期には安城市のごみ処理場を見学し、次いで学校のグリーンカーテンの観察や手入れ、また2学期には水について学習し、安城市下水道管理課の出前授業も受け、生活の中で自分にできることを調べたり実践したりした。3学期に行った里小まつりでは、学級ごとに、段ボールコンポストによる堆肥作り、下水のしくみや問題点、さまざまな環境問題などについて発表した。

